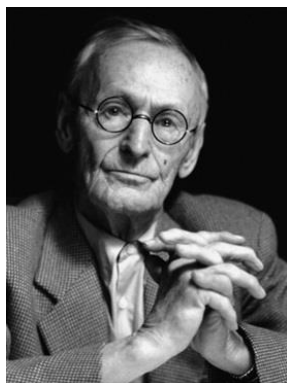


# 『Mind Charging』

第 173 回 発行：入試広報室 発行日：令和 2 年 12 月 9 日

## ヘルマン・ヘッセの名言



**The bird fights its way out of the egg.  
The egg is the world. Whoever will be born  
must destroy a world.**

鳥は卵からむりやり出ようとする。卵は世界である。

生まれ出ようとする者は一つの世界を破壊しなければならない。

まさに『殻を破れ！』という強いメッセージが込められた言葉ですね。ここでいう世界は『舞台』と置き換えることができと思います。そういう意味では小学校や中学校と言った義務教育を卒業したみなさんは、新たな舞台で生き始めているということになります。そういう意味では自分の世界の変化は確実に起こっています。そして、将来的には学生から“社会人”へと、また新たな舞台がみなさんを待ち受けているわけですが、今のみなさんから見た社会人とはどのようなイメージですか？私が学生当時に社会人の様々なイメージをしたひとつに『勉強しなくていい』というのがありました。そして社会人となった今、イメージ通りだったかと言うと全く違います。毎日が勉強で毎日がテストといった感じです。文章にしてみると『過酷すぎる・・・』と思うかもしれませんが、確かに大変ですがそんなことはありません。一番面白いのは“当時の未来予想図との違い”です。今は準備段階です。良い意味で一つの世界を破壊し、最高の舞台を自分で用意する気持ちで努力することが、素敵な未来予想図を描くことに繋がります。正智深谷で目一杯描いていきましょう！（編集委員：入試広報室 鈴木）

ヘルマン・カール・ヘッセ(Hermann Karl Hesse, 1877 年 7 月 2 日 - 1962 年 8 月 9 日)は、ドイツ生まれのスイスの作家。主に詩と小説によって知られる 20 世紀前半のドイツ文学を代表する文学者である。南ドイツの風物のなかで、穏やかな人間の生き方を描いた作品が多い。また、ヘッセは、風景や蝶々などの水彩画もよくしたため、自身の絵を添えた詩文集も刊行している。1946 年に『ガラス玉演戯』などの作品が評価され、ノーベル文学賞を受賞した。(Wikipedia 参照)